

第17回青少年育成北杜市民大会

日時 令和3年11月27日(土) 午後1時30分から

場所 長坂コミュニティ・ステーションホール(北杜市長坂町長坂上条2575-19)

内容 中学生意見発表、基調講演 ほか

◆基調講演では、北杜ふれあい塾とコラボし、『キャッシュレス時代における家庭の金融教育』と題して目に見えないお金の知識や価値観、注意点など大人が知っておくべきポイントなどをファイナンシャルプランナーの高木典子氏を講師に迎えご講演いただきます。

※ 一般参加の方はふれあい塾からお申し込みください。

※ 青少年育成北杜市民大会は中止になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

参加
無料

楽つみ木広場ワークショップ2021 in ほと

日時 令和3年12月4日(土) ①午前10時00分 ②午後1時30分

場所 明野総合会館(明野町)

対象 市内の小学生(保護者の方は1名まで一緒に参加できます)

定員 ①・② それぞれ30人(先着順) ※11月18日(木)9:00から生涯学習課にて受付開始

参加費 200円(保険料含む)

内容 木楽舎さんの楽つみ木3種類2万個のつみ木を使って、自分より大きな山や動物、乗り物…なんでも自由に形にしてみよう!!大人も熱中できます!!

その他 中止になる可能性があります。

実施する場合は小学校を通して案内のチラシをお配りします。



第16回青少年育成北杜市民大会

大会宣言

未来を担う青少年が、ふるさと北杜に誇りを持ち、心身ともに健やかに成長していくことは、私たち市民すべての願いです。

多くの青少年は、コロナ禍にありながらも、夢や希望の実現に向け努力しながら、日々たくましく成長しています。

一方で、情報化が急速に進み、インターネットやSNS(ソーシャルネットワークサービス)等の利用による犯罪・被害の増加など、青少年を取り巻く社会環境が大きく変化し、問題は複雑化、深刻化し、大きな課題となっています。

青少年を健全に育成し、非行を防止するために、家庭、学校、地域の人々が一体となって、夢や希望を育み安心して暮らすことができる地域づくりに、より一層力を入れて取り組むことが重要です。

「地域の子どもは地域で守り育てる」の意識のもと、相互に協力・連携しながら、子ども一人ひとりの顔が見えるような地域の実現を目指していくことを、ここに宣言します。

令和2年11月28日

～ 事業へのお問い合わせ、青少年の悩み事・相談等がございましたらこちらへ ～

青少年育成北杜市民会議

生涯学習課

42-1373

青少年育成明野・須玉地区民会議

須玉公民館

42-1434

青少年育成高根・大泉地区民会議

高根公民館

46-1013

青少年育成長坂・小淵沢地区民会議

小淵沢公民館

42-1495

青少年育成白州・武川地区民会議

武川公民館

20-3019

発行 青少年育成北杜市民会議
(北杜市教育委員会生涯学習課)
TEL 0551-42-1373
FAX 0551-42-1124

令和3年度(前期)

青少年育成北杜市民会議だより

～地域の子どもは地域で守り育てる～

《青少年育成北杜市民会議について》

青少年育成北杜市民会議は、市内の8地域の青少年育成地区民会議と青少年団体が結集した団体で、青少年の健全育成のための様々な活動を行っている団体です。

令和3年度の前半に行った、それぞれの青少年団体の活動の一部をご紹介します!

【明野・須玉夏休み体験交流教室】
(青少年育成明野・須玉地区民会議 合同)

【パトロールボランティア 説明会・対面式】
(青少年育成須玉地区民会議)

8月4日(水)に、他町の子どもたちと、学年、地域を隔てず、自然に触れ、体験学習やゲームを通して子ども同士の親睦を深めることを目的に2年ぶりに実施することができました。当日は青少年育成推進員3名と北杜JL16名にご協力頂き開催しました。ジュニアリーダーとの交流ゲームでの子どもたちの顔がとても楽しそうで、コロナ禍のストレスが一瞬でも解消できホッとしました。また、ジュニアリーダーの統率力と小学生の気持ちを感じ取る力、即行動してゆく動作がとても素晴らしいものでした。移動中も参加者とジュニアリーダーが和気あいあいと交流し車中がとても和やかで、楽しい交流教室でした。来年もジュニアリーダーの顔と小学生の楽しそうな顔を見るために、是非開催したいと考えています。



【夏休み理科工作教室】
(青少年育成高根・大泉地区民会議 合同)

7月27日(火)に、高根町農村環境改善センターの多目的ホールにおいて、「夏休み理科工作教室」を実施し、当日の参加者は10名でした。今年は、ストローと厚紙を使った飛行機(ストロー飛行機)とB玉2個をセロハンテープでくっつけ、タコ糸で結んだあと、タコ糸を左右にひきビー球を回すビーゴマを作りました。最初にビーゴマを作りみんなで、回して楽しみました。続いてストロー飛行機の作製に入りました。羽を太くしたり、二つのストロー飛行機を一つにしたりと工夫しながら飛ばし、友達と一緒に走り回って遊んでいました。



4月12日(月)に、須玉小学校でパトロールボランティア説明会・対面式を実施しました。説明会では、先生や駐在所警察官、ボランティアの皆さんと通学時の見守り活動の意見交換を行いました。また、対面式は、校庭にて全児童にボランティアの方、警察官の顔を覚えてもらい、声かけ、見守り、交流を深めてもらうことを目的として実施しました。年々、ボランティアの皆様が高齢化し病気などで退会される方が多くなってきました。そこで、5月の須玉地区民会議総会でボランティアの募集をしたところ、2名の方に入会していただくことができました。今後も、通学路の点検など子どもたちの見守り活動をボランティアの皆様と強力に進めて行きたいと思います。



【夏休み子ども読書感想文教室】
(青少年育成高根・大泉地区民会議 合同)

7月29・30日の2日間にわたり、「夏休み読書感想文教室」を実施しました。新型コロナウイルス感染症のため二年ぶりの開催となりましたが、会場のガイドラインに則り、実施しました。ここ数年同じ講師の先生の指導で教室を行っていたためか、参加者は読書感想文を書くための準備も全員が終わっており、二日間で全員が感想文を仕上げることができました。

こんなコロナ禍の時ですから、静かに本を読み、本から多くのことを学ぶ、そんなことも必要だと思います。



【夏休み理科工作教室】
（青少年育成長坂・小淵沢地区民会議 合同）

7月30日（金）に夏休み理科工作教室を開催しました。初めに共催のながさか図書館から「とべ バッタ」の読み聞かせがありました。そして本年はコロナ禍のため、例年よりも手軽な2種類を作りました。「ビーごま」はビー玉の回転とたこ糸のよじれ・ほどけによる遠心力を利用しています。「ストローひこうき」はストローに付けた大小の輪で空気を捉え、前に留めたクリップが方向性を定めます。どちらの工作も子ども達は自分の考える形に工夫し、身近な材料でものを作ること、自分自身で作ったもので遊ぶ楽しさを経験しました。



【白州理科工作教室】
（青少年育成白州地区民会議）

8月5日（木）に白州総合会館において、昨年度はコロナ禍により中止となった理科工作を実施することができました。講師は元山梨県理科教育研究会会長の早川憲三先生にお願いし、セロテープで留めたビー玉2個の中央をたこ糸で結び、たこ糸をよじることによって空中でビー玉2個を回す「ビーごま」と画用紙で大小のリングを作り、ストローの前後に付けて飛ばす「ストロー飛行機」を作製することとしました。子どもたちは、全員が作品を完成させ、大いに楽しみ充実したときを過ごした様子でした。



【通学路の横断旗入れ修理】
（青少年育成小淵沢地区民会議）

地区民会議運営員や子ども見守りボランティアの方から、冬の風が強い時に交差点等の横断旗入れから横断旗が飛ばされ、車に踏まれて使用できなくなってしまう、横断旗入れが長年の使用で塗装が剥げさびが出ているとの連絡が来ました。そこで、横断旗が風に飛ばされないよう横断旗入れに穴あきのふたを取り付け、塗装がはげているものは躯体に問題がなかったため、さび落としをして横断旗入れと一目で分かるようステッカーを貼りました。これからも、子どもたちの安全のため、地域の皆様のご協力をいただきながら活動していきたいと思います。



【子どもおやつづくり教室】
（青少年育成白州・武川地区民会議 合同）

6月12日（土）に、武川・白州合同の子どもおやつづくり教室が予定されていました。しかし、学校では、密を避け、黙って同じ方向を向いて食べる無言給食を実施しているところでした。そのような状況の中で、どうしたものかと育成会連絡協議会や地区民会議において、話し合いが行われました。オンラインで実施する他いろいろな案が出されましたが、最終的には、レシピを紙ベースで配り、各家庭で進めてもらうという結論となりました。講師の方と相談し、できたレシピを子どもたちに届けました。親子で実際に作ってみた感想を寄せてくれた方もいます。今後も、できる範囲での事業の実施となりますが、意義のあるものにしていきたいものです。



【総会】
（北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会）

5月14日（金）に総会を開催し、新役員、事業計画、予算などの議案について審議し、可決されました。事業計画については今年度においても、「子どもクラブ親睦スポーツ大会」や「夏季中学生キャンプ」は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止が決定されましたが、ジュニア・リーダー養成事業については、活動を工夫し、充実した活動が行えるよう配慮していくこととなりました。一日も早く新型コロナウイルス感染が終息することを願うばかりです。



【北杜JL（ジュニア・リーダー）活動】
（北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会）

市内の中学2年から高校3年の生徒（JL会員数47名）が、自らを高め、地域に貢献することを目指して、新型コロナ感染防止対策を徹底しながら、毎月定期的に活動をしています。「自主企画」「自主運営」を基本として、座学や意見交換、アイスブレイク、キャンプファイヤー、野外炊事などの実践研修を意欲的に学び、基礎的な資質や能力を身に付け、その活動成果を各地域の事業に協力支援をしたりしています。JLが目標とし、活躍する「夏季中学生キャンプ」は新型コロナ感染防止から中止になりましたが、8月には明野須玉の両地区民会議が主催する交流会への支援を行い大変喜ばれました。



～「あいさつ・声かけ」運動を推進しています～

あいさつ・声かけ運動とは・・・

日常的な「あいさつ」や「声かけ」を子どもと大人も含めてみんなで行う運動のことをいい、市民運動として定着していくように進めていきます。この「あいさつ・声かけ運動」を進めていくことにより、人間関係が豊かな、明るく安全で住み良い地域社会づくりを目指します。

「あいさつ」のいいこと・・・

- ・あいさつをする、また、されると、気持ちが良くなります。
- ・あいさつをする人同士の心の距離を縮め、親近感や連帯感を持つきっかけとなります。
- ・あいさつにより、地域にお住まいの方や自分の住む地域に深い愛着を抱くようになり、住み良い地域づくりが進んでいくことが期待されます。
- ・あいさつが交わされることにより、犯罪の起こりにくい地域づくりに繋がります。



～「あいさつ・声かけ」の実践に向けて～

気持ちの良いあいさつは、活気ある職場や地域の連帯感づくりにとても大切なものです。青少年育成北杜市民会議では、地域社会の結びつきを深め、青少年がのびのびと育つ、安全で安心な住み良い社会を築くためにも、大人も子どももお互いに声をかける「あいさつ・声かけ運動」を推進します。

- ・地域での「あいさつ」の呼びかけ（おはよう、こんにちは、こんばんは・・・）
- ・家庭での「あいさつ」の呼びかけ（おはよう、いただきます、ただいま・・・）
- ・大人から子どもへのあいさつの推進（まず大人から元気なあいさつを！！）
- ・「あいさつ・声かけ」への意識啓発事業（リーダー養成など・・・）

～北杜市青少年育成推進員～

各地区に、北杜市教育委員会より委嘱を受けた青少年育成推進員の方がいます。令和3～4年度は、76名の方が委嘱を受け、次の活動をしています。

- (1)市内における青少年問題の実情を把握し、青少年関係機関等と連携しながら青少年の健全育成
 - (2)青少年のグループ活動の促進、有害環境の浄化、青少年の居場所作りの促進、週末活動・体験活動の促進、非行防止及びその他青少年健全育成活動の推進
 - (3)青少年育成推進員は、地区ごとに代表を置いて各推進員を取りまとめるとともに、市民会議への参画
- （活動例）・各青少年育成地区民会議が行う研修、会議等への参加
- ・日常生活での見守り、安全安心の確認等（安全パトロール など）
 - ・青少年に関わる事業や活動などへの協力（体験教室、ボランティア活動 など）

令和3～4年度「あいさつ・声かけ運動」標語
あいさつは 誰でも贈れる プレゼント
青少年育成北杜市民会議

